

環境教育研究部会

1 研究テーマ

「自然との共生」をめざした「環境教育」のあり方
～身近な環境や自然に対して主体的にかかわる子どもの育成～

2 研究テーマにかかわって

自然環境は全ての生き物の生活基盤であるが、人間はこれまで自然を破壊し、あたかも人間だけが特別な存在であるかのように自然に対して大きな負荷を与え、再生不可能ではないかと思われるような開発を行ってきた。その結果、地球は、大気汚染、海洋汚染、オゾン層の破壊、地球温暖化、酸性雨、水質汚濁、食糧問題、人口問題、エネルギー問題、絶滅が危惧される動植物の数々…。実に様々な環境問題を抱えるようになった。また、福島第一原発による放射能汚染は、終わりの見えない最大の環境問題である。

これら問題を解決するためには、私たちの生活と自然とのかかわりにどのような問題があるのかという実態を正しく把握し、その原因を追求することが大切である。また、環境問題を引き起こしている社会経済の仕組みも理解し、環境に配慮した仕組みに変革していく努力も大切である。私たち一人ひとりが、問題解決のために何をしなくてはならないかを考え、実行していくことが必要とされている。

本部会では、まず、私たちが科学的な知識に裏付けられた環境に対する現状認識を深めるとともに、環境問題を自分の課題としてとらえ、主体的に取り組んでいけるような子どもの育成をめざしていきたい。そのためにも、子どもたちが自然に親しみ、自然の素晴らしさや不思議さに気付くことができるような環境学習の機会を重視して、環境に対する豊かな感受性を育てていきたい。

3 研究内容について

(1) 統一授業研に向けて授業案作りを行う。

- ・講師を呼んで環境教育に関する学習会
- ・臨地研修（令和元年8月9日（金）山梨市乙女高原）

(2) 部員による実践報告を行い、環境教育のあり方を討議する。

(3) 学校教育の場だけで終わらせず、家庭や地域社会でも実践が広げられるような学習素材や教材づくりを検討する。

4. 研究計画（年間10回）

回	研究日	会場	司会	記録	内容
1	5月8日(水) 【春季教研】	塩山中	中村	向山	役員、研究テーマの決定 研究内容、計画の検討
2	5月22日(水)	奥野田 小	猪股	土屋	研究内容・計画の決定 統一授業研究の内容について等
3	6月12日(水)	大和中	青木	小石澤	統一授業研究の授業について検討 夏季学習会の内容について等
4	8月9日(金) 【夏季学習会】	笛川小	深澤	吉本	統一授業研究の指導案検討 環境教育の学習会 臨地研修（山梨市乙女高原）
5	8月28日(水) 【統一授業研】	笛川小	中澤	山元	研究授業 授業者：向山潤先生（笛川小）
6	9月18日(水) 【秋季教研】	塩山中	武井	中村	実践報告（武井、小石澤、中村）
7	11月27日(水)	大和小	向山	猪股	県教研の報告 実践報告（吉本、山元、土屋）
8	1月15日(水)	加納岩 小	土屋	青木	実践報告（猪股、深澤、中澤）
9	2月5日(水) 【統一授業研】	玉宮小	小石澤	中澤	授業研究 授業者：青木恵先生（玉宮小） 本年度の研究についてのふり返り
10	2月12日(水) 【冬季教研】	塩山中	山元	深澤	研究のまとめ

5 授業実施計画

8月28日(水) 授業者 向山 潤先生（笛川小）
 授業内容 6年 総合的な学習の時間
 「私だけが知っているお気に入りの場所を紹介しよう」

2月 5日(水) 授業者 青木 恵先生（玉宮小）
 授業内容 1年 生活科
 「水神池の冬を見つけよう」

第6学年総合的な学習の時間学習指導案

授業者 向山 潤

1 単元名

私だけが知っているお気に入りの場所を紹介しよう

2 単元目標

地域の自然に関心を向け、その現状や問題点などについて自分なりに考えたり調べたり発表したりして、大切にしていこうという心情を育むことができるようにする。

課題設定の力	①自分が紹介したい学区の自然を見つけることができる。 ②自分が一番伝えたいこと、知りたいことを見つけることができる。
情報選択・価値判断の力	①必要な情報を書物やインターネット、インタビュー等で調べることができる。 ②自分なりの思いや考えをもつことができる。 ③調べて分かったことや考えたことを分かりやすくまとめることができる。 ④聞き手に伝わりやすいように工夫して発表できる。
活用・発展させる力	①調べたり発表したりしたことから、問題点を知り行動しようとしたり発信しようとしたりしている。 ②自然の良いところを見つけることができる。

3 児童の実態

本学年の児童は男子17名、女子10名、計27名（含む特別支援学級在籍児 知的 女子2名、情緒 男子1名、女子1名）の学年である。休み時間は外に出て元気に過ごしている児童と校内で過ごす児童が半々となっている。ただ全体的に体を動かしたり、様々な活動には意欲的に取り組んだりする集団である。授業中はどんな問題にも積極的に取り組み、友だちの意見や考えをよく聞いている。その一方、自分の考えに自信がもてず、発表時に声が小さかったり考えの対比や批判的な意見を言えなかったりする側面もある。

子どもたちの普段の様子に目を向けると、学習で取り扱う動植物には意欲的に関わろうとする姿があるが、授業外での関わりはあまり見られない。特に植物に関しては動物に比べて興味・関心が低いように思われる。原因としては、植物の名前が分からないことや自ら進んで育てている植物がないこと、例を出して話す時には、植物よりも動物のほうが理解しやすいということなどから感じられる。また、習い事なども多くの児童が行っており、放課後の時間を自由に遊びに使える児童も少ない。それと共に地域の遊び場の減少や防犯上の理由（野生動物や不審者の出没等）からなかなか下校後、外で遊び自然と触れ合う機会がもてないという現状がある。

これまで4～6年生の間に授業で自然に関わる活動として、蚕の飼育、鳥の巣箱作り、バケツ稲作り、自然教室、乙女高原学習、学校の周りのゴミ拾い活動などを行ってきている。

子どもたちが考える自然について5月にアンケートをとり、結果は以下の通りであった。

①自然と聞いて何が思い浮かびますか。(複数回答)

森(12) 木(9) 山(9) 林(6) 川(4) 植物(3) 花(3) 緑(2) 虫(2) 海(2) 風の音 昆虫 動物 野生動物 鳥 空気 水 湖

②好きな場所や物(自然物)はありますか。

富士山(4) 林(2) 木(2) 虫(2) 花(2) 山 川 家の庭 動物 鳥 栗 どんぐり 自然に囲まれた所 空気 乙ヶ妻の枝垂れ桜 高尾山

③あなたにとって自然とは何ですか。

大切なもの(7) 空気(4) 空気が綺麗なところ(4) リラックスできる場所(2) なくなるといけないもの(2) いろいろな発見をさせてくれるもの 身近なもの 森林 生き物がいるところ 二酸化炭素を吸ってくれる 生きていくために必要なもの 草花

④身の周りの自然でやってみたいことや知らせたいことはありますか。・・・ない10

ごみ拾い(4) キャンプ(2) 山の中にアスレチックを作りたい 釣り 登山 森探検 草遊び 落ち葉遊び 自分一人で花を育ててみたい 葡萄について 蟻について 自然は気持ちが良いものということ 旧牧丘第二小学校でカブトムシがいっぱい捕れること

⑤これまで自然に親しんだ経験はありますか。・・・ない6

自然教室(13) ごみ拾い(5) 山菜採り キャンプ 植林活動

アンケートより、自然といわれると植物のイメージが強いようだが、やはり具体的な名前はあまり出てこなかった。また“③あなたにとって自然とは何ですか。”という質問に対して、「大切なもの」「なくてはならないもの」と3分の1程度の児童が答え、少数ではあるが「リラクゼーションできる場所」「いろいろな発見をさせてくれるもの」「身近なもの」と回答する児童がいた。今回の学習を通してこのような気持ちを多くの児童がもてることを期待している。

4 教材について

今回の学習で身近にあるお気に入りの場所（自然）をリーフレットの形にして紹介するという学習活動を行う。この学習を行うことで、自然をより身近に感じられたり選んだ自然物のルーツや関わる人の思いを知ったりすることができる。それらを感じたり知ったりすることで自然への愛着や保護・保全へと向かう子どもたちの心情を育むことができると考えている。

また、自然が子どもたちにとって遠いものとなっている現状がある。その理由として主に3つ考えられる。1つ目は、自然の中や自然のものを使って遊ぶ機会の減少という点である。特に今の子どもたちは、自然に囲まれているにもかかわらず、自然の中で遊ぶ経験がとても少ない。安全面や子どもの多忙化、室内ゲーム機の普及など理由は様々あるだろうが、意図的に興味・関心をもたせるように仕向けたり遊ばせたりしていかなければならないのが現状である。さらに、子どもたちの家庭を見ても牧丘・三富の主産業は農業であるが、家業として行っている家は27人中6人とどまり、作物などを植えたり育てたりする経験もあまりないと聞いている。2つ目は、名前が難しかったり見分けがつきづらかったりすること。3つ目は、子どもと関わる人の植物に関しての話題の少なさが考えられる。

この学習を通して、自分のお気に入りの場所（自然）を選んで調べ、観察し、詳しく学びまとめていくことで、進んであらゆる自然とふれあう姿や自然の尊さ、人やものとの関りを感じ取っている姿を期待したい。そして、この学習を終えた時には、自分たちの地域の素晴らしさを再発見し、全世界で問題となっている環境問題や環境保全といった分野に関心を広げていけるようにしていきたいと考えている。

5 指導と評価の計画（全15時間）

時間	○ねらい・学習活動	・支援及び留意点	評価の観点			評価項目 (方法)
			課	情	活	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○自分だけが知っているお気に入りの場所を見つけて記録や観察する。 ・お気に入りの自然物とその場所を見つけて、記録や観察を行う。 ・学校周辺を散策し、自然観察を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家の庭や学校の校庭, 学区内の観光名所など, 自分の身近にある物を選ぶようにさせる。 	○			学習メモ 写真 発言
6	<ul style="list-style-type: none"> ○Keynote を使って, リーフレットの内容を考えてまとめる。 ・必要な情報源を使い調べ学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットなどを用い, 必要な情報を得られるよ 		○		Keynote 写真 発言

	を行う。 ・リーフレットの紹介ができるように準備する。	うにする。				
2 (本時1/2)	○リーフレットを紹介し、それぞれの良さを知る。 ・自分のリーフレットを紹介し、気に入っている理由や良さを伝える。 ・友だちの発表を聞き、疑問に思ったことを質問したり感想を伝えたりする。	・分かりやすく発表できるように、必要な機器を準備する。		○	○	Keynote 学習プリント
3	○友だちの意見や紹介を参考に改善する。 ・アドバイスなどを参考に調べ学習を行う。 ・さらに、興味や関心をもったものについても調べる。	・本やインターネットなどを用い、必要な情報を得られるようにさせる。		○		Keynote 写真
1	○学区の地域の地図に示して掲示する。 ・全校に地図とリーフレットを見せよう。	・全校が見られるように地図とリーフレットを準備する。			○	

6 本時の学習（全15時間中9時間目）

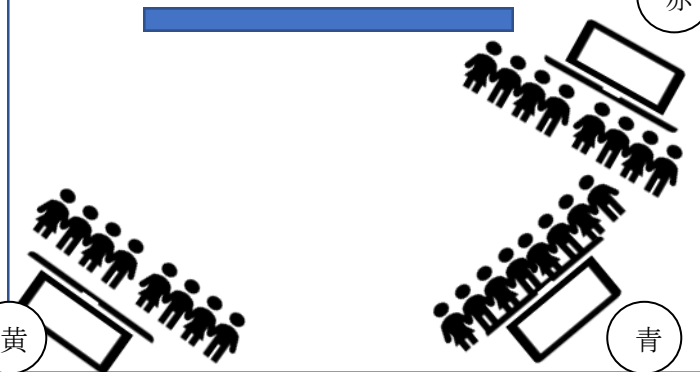
- (1) 目標 ①お気に入りの場所（自然）を分かりやすく紹介することができる。
 ②友だちの発表の内容からもっと知りたいことや初めて知ったことなどを伝えることができる。

(2) 日時 令和元年8月28日（水）5校時

(3) 場所 山梨市立笛川小学校 6年教室

(4) 展開

時	学習活動	○指導上の留意点 ・支援の工夫	評価項目
導入	1 本時の活動内容を確認する。	・機器の扱い方（iPad）を確認する。	

	<p>2 本時の学習課題と聞くポイントを 確認する。</p> <p>学習課題</p> <p>①お気に入りの場所（自然）を分かりやすく紹介することができる。</p> <p>②友だちの発表の内容からもっと知りたいことや初めて知ったことなどを伝えることができる。</p>		
展開 (35)	<p>3 3ヶ所に分かれて、リーフレットの紹介をする。</p> <p>発表例…別紙資料参照。</p> <p>教室レイアウト</p> 	<p>○分かりやすく紹介するために、 図などを指し示して発表するよ うにさせる。</p> <p>○一人ずつ順番に発表し、他の児童は発表を聞き、必要なことを学習プリントにメモしていく。</p> <p>・差し棒やAV機器の準備を行う。</p> <p>・都度聞くポイントを確認する。</p>	情④
	<p>4 学習感想を書いて発表する。</p>	<p>○感想発表ができるように時間を確保する。</p> <p>・感想と共に学んだことや改善に向けての考えなども書くように支援する。</p>	活②

(5) 板書計画

<p>8/28 学習課題</p> <p>聞くポイント</p>	<p>活動の流れ… 発表 4分</p> <p>質疑応答 3分</p>	<p>学習の振り返りから</p>
--------------------------------	------------------------------------	------------------

(6) 児童選定場所・物一覧

赤		青		黄	
K. N	畑・ブルーベリー	H. A	自宅前・小川	M. R	通学路・紫陽花
M. K	自宅・松	S. K	自宅・松	H. R	笛吹川
Y. D	祖父宅・松	W. K	自宅・松	A. R	一の釜（滝）
T. T	畑・葡萄棚	S. H	祖父宅・桜	M. K	祖父宅前・野原
Y. Y	自宅裏・竹	H. T	自宅・松	H. T	自宅・百日紅
S. R	乾徳山	F. S	神社・桜	M. Y	自宅・桜
K. S	自宅・楓	S. T	祖父宅・松	T. K	公園・桜
O. T	廃校校庭・桜	F. R	乙女高原	I. K	乙女高原
O. A		T. A		F. R	

7 授業を終えて

【授業者の反省】

- ・発表物の作成を2学期に入ってから行ったので、短い時間の中であったがよく取り組んでいた。
- ・発表者を決める際、自らやりたいという子が多く、急遽発表の仕方を変更した。意欲的に取り組めていてよかった。
- ・タブレット端末 (iPad) を使用して作成したが、個人差がみられた。(全体的にはよく使えているといえるが・・・)
- ・児童の感想の中には、「松に実があるなんて知らなかった」「桜に毒(クマリン)があるとは知らなかった」「竹が14mも伸びるなんて知らなかった」などあり、子どもたちの中で実りの多い授業となった。
- ・今回はインターネットなどの画像を使うなど、急造の子も多く、今後改善の時間を経ながら完成させていきたい。
- ・完成させて交流していく中で、他の児童との繋がりや知識の広がりや担任も関わりながら進めていきたい。「松に実があるなんて知らなかった」「桜に毒(クマリン)があるとは知らなかった」「竹が14mも伸びるなんて知らなかった」
- ・よりよいリーフレットが作成できるように指導していきたい。



【研究会から】

- ・感想に「帰り道に見てみたい」との感想があった。授業を通して児童の意識の変容を感じた。ねらいにせまれた。「松に実があるなんて知らなかった」「桜に毒(クマリン)があるとは知らなかった」「竹が14mも伸びるなんて知らなかった」などの感想から。



- ・名所ばかりでなく、身近なものも取り上げたことがよかった。
- ・他教科や今までの学習した知識を確かめることが、現地に取材に行くことで実際に体験できたと思う。
- ・時間のなかで仕上げてあり、児童の頑張りが感じられた。タイトルや素材の工夫等よくできている児童もいた。地域や家庭との繋がりをもつことができていた。
- ・日常の体験や幼い頃の記憶がテーマ選びに繋がっている。興味やこだわりをもって調べたりまとめたりすることができていた。

- ・最後に一枚の地図にまとめることで、児童一人一人の調べたことが1つの地域の中でつながって示されることで、友だちの発表と自分の発表の繋がりにも気づくことができる。

△素材選定について『松』が多かったが、本当に自分自身の“お気に入り”なのか疑問。自分が気に入ったものならばもっと掘り下げて調べたいものではないか。私的な歴史や伝えを調べて発表してもよいと思う。思い入れが感じられるような内容にしていきたい。

△「私だけの～」と単元名にあったことで、みんなにわかりやすく紹介できるかどうかテーマが絞りがづらくなった。

△子どもらしく自分の発表をしていた。内容の正誤チェックは今後も必要だが、機器を使いこなしきちんと発表できたことは素晴らしいと思う。特にネットからの引用について、確認が必要。

△地図の表示は“わかりやすさ”という点で載せてあった方がよい。

△内容の広がり、五感に訴えるものとして、実物がよい。→実際に持ってこようとした児童もいた。今後実際に触れる活動を模索していく。

△葡萄を調べる児童の多くが、途中で他のテーマに変更してしまった。

△6月から話して動き出したので、季節と結び付けて発表ができる児童が少なかった。



【指導・助言】

- ・自然環境も ICT 環境もよく整っている。
- ・3グループそれぞれがよく集中して話を聞き、質問も意見もよく出ていた。もっと詳しく背景（個人）を知りたくなった。ネットからの知識に加え、インタビュー等も加えていくとよいかもしれない。
- ・木などは、植えられた経緯や思いなどのエピソードもつけるとよい。
- ・実際（市等）のパンフレットやリーフレットがあると項目の参考になったのではないか。
- ・写真のアングルや紹介の仕方も大事な要素となってくる。
- ・自然遊びについて知るよい機会ともなった。
- ・子どもたちがよく活動していた。ほめて次の活動につなげていきたい。

8 考察

今回の授業を通して、身近にある自然に目を向けさせることはできた。ただし、庭木や畑などの人間の手がよく入る所と野原や小川など、あまり人の手が入らない所とあり、子どもたちは一色単に考えている節があり、違いを把握させながら



学習を進められるとよかったと感じた。子どもたちからは「松に実があるなんて知らなかった」「桜に毒（クマリン）があるとは知らなかった」「竹が14mも伸びるなんて知らなかった」というような感想が出された。今後も身近な自然に興味・関心をもち続け、自然の不思議さや面白さを感じながら生活していくことができれば今回の学習が意味のあるものになっていくのではないかと考えている。

学習を終えたところで、子どもたちが考える自然について再度10月にアンケートをとり、結果は以下の通りとなった。

① 自然と聞いて何が思い浮かびますか。（複数回答）

木（11）山（9）森（8）植物（8）動物（5）林（5）花（5）川（5）草（3）
 生き物（2）葉（2）海（2）湖（2）水 草原 森林 虫 風の音 野生動物 鳥 空気

②好きな場所や物（自然物）はありますか。

川（4）祖父母宅の松（2）海（2）虫（2）森（2）葡萄畑 白い花 猫 林 湖 近くの山 百日紅 松 家の裏の切り株 山 桜 家の庭 富士山 八ヶ岳 庭の松 動物 鳥 栗 どんぐり 自然に囲まれた所 空気 乙ヶ妻の枝垂れ桜

③あなたにとって自然とは何ですか。

大切なもの（５）生きていく上で必要なもの（４）空気（４）なくなるとはいけないもの（３）身の回りにあるもの（２）人が手入れなどしてない植物（２）リラックスできる場所（２）緑が多くて空気がきれい 動物・植物・人間と一緒に住むところ 人工的に作られていない天然のもの 守っていかなければならないもの いろいろな発見をさせてくれるもの 生き物がいるところ 二酸化炭素を吸ってくれる 特別なもの

④身の周りの自然でやってみたいことや知らせたいことはありますか。・・・ない４

ごみ拾い（３）花を育てる（２）植林・植樹（２）キャンプ（２）自然について詳しくなりたい 自然の中で寝転びたい 雑草を抜く 木を植える 葉などを使った遊び 公園などのごみ拾い 桜の木 花の蜜を飲んでみたい 自然の物で家を作る 竹を使った流し素麺 魚釣り プラスチックのごみを減らしたい 山の中にアスレチックを作りたい 登山 森探険 草遊び 落ち葉遊び 葡萄について 蟻について 自然は気持ちが良いものということ

⑤これまで自然に親しんだ経験はありますか。・・・ない０

自然教室（１４）植林・植樹（２）自然活動 ごみ拾い 雑草取り 落ち葉拾い 魚釣り キャンプ 海水浴 山登り 山菜採り ポスターを描く どんぐり拾い

アンケートの結果より、５月に比べてどの項目も回答数が増え、子どもたちの考えが広がったことが明らかになった。また、他教科やニュースなどから新たな情報を得ている子も何人もおり、やりたいことなどが増えてきたことは興味・関心の高まったといえる。リーフレットを改善していく中で、環境保全についてや外来生物について、絶滅危惧種についてなど知識や考えも幅広く子どもたちのリーフレットの中に組み込まれたことで、アンケートにもその関わる部分が表れていた。改めてアンケートをとり、これまでの環境教育の中で学習したことを振り返る機会ともなり“繋がり”に気づくこともできた。

子どもたちにとって、“大事にしたい”“残していきたい”という愛着や周りの自然環境に対して保全や問題解決への意識がもてるように、さらに学習を積んでいくことで、豊かな心情が育まれていくと確信している。また、郷土への愛着心も大きくなっていくのだと考えている。